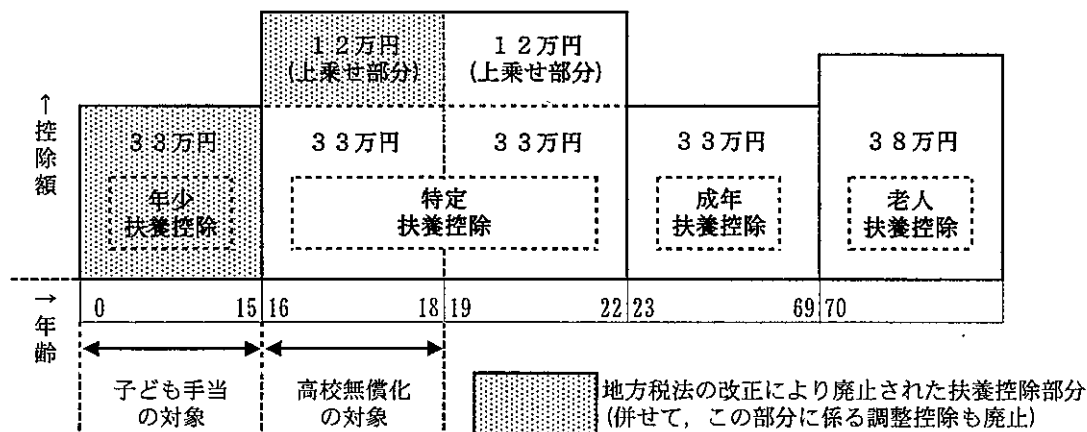


1 地方税法改正による扶養控除等の変更内容



2 廃止された扶養控除により影響を受ける福祉医療費の助成対象者

| 助成対象者の区分 | | 影響の有無 |
|----------|-----------------------|-------|
| 乳児 | 0歳児 | 影響なし |
| 幼児 | 1歳児～2歳児 | 影響あり |
| 幼児等 | 3歳児～小学校3年生 | 影響あり |
| 障害者 | 高齢障害者以外の障害者 | 影響あり |
| 高齢障害者 | 65歳以上で後期高齢者医療被保険者の障害者 | 影響あり |
| こども | 小学校4年生～中学校3年生 | 影響あり |
| 老人 | 65歳～69歳 | 影響なし |
| 母子・父子家庭 | | 影響なし |

3 条例改正の内容例 (網掛部分の市町村民税所得割額が増加しないようにする。)

| 助成対象の範囲 (市町村民税所得割額) | | ← 235,000円未満 → |
|---------------------------------|---|------------------|
| 事例：助成対象になっている世帯 (年少扶養控除が1人分の場合) | | 230,000円 |
| ① | 条例改正を行う場合 (年少扶養控除の廃止がなかったものとして市町村民税所得割額を算定) | 230,000円 (助成対象) |
| ② | 条例改正を行わない場合 (年少扶養控除が廃止されたものとして市町村民税所得割額を算定) | 249,800円 (助成対象外) |
| | | (230,000円) |

網掛部分：(19,800円)
(年少扶養控除33万円×市民税6%)